

令和6年度の教育活動等に対する学校評価書

令和7年2月6日

学校法人大雄学園 理事長 伊藤 正見
 学校法人大雄学園 ふじの花こども園長 伊藤菜穂子

- 1 園の教育目標 『心豊かな人間の育成』
 2 本年度の重点目標 「笑顔いっぱい元気な子」
 目指すこども像 (1)健康でたくましく伸び伸び遊ぶ子「すくすく」 (2)感謝や思いやりの子を持つ子「きらきら」「ここにこ」 (3)進んで取り組む子「いきいき」「わくわく」
 3 自己評価結果とそれに対する学校関係者評価結果

| 評価対象 | 評価項目 | 自己評価 | | 学校関係者評価委員会 | |
|-------|-----------------------|------|--|------------|---|
| | | 評価点 | 園としての成果や課題、改善策 | 評価点 | 意見 |
| 教育成果 | 親や子どもは園での教育活動に満足している① | A | ○保育者が一人一人の園児の発達段階に応じ、生活習慣を身に付けることや、遊びを大切にすることも主体の保育教育活動を行うようにしてきた。 ○子どもの思いを受け止め心に寄り添いながら楽しい活動を行ってきた。 ○園での子どもの生活や活動の姿を保護者に話したり、家庭の様子を聴いたりして伝え合うことでコミュニケーションを取り、信頼関係を深めてきた。 ○子どもに育みたい資質能力を考慮し、保護者から期待される園を目指す。 | A | ・子どもが健やかに成長(0歳～5歳)できるように、落ち着いた環境の中で育てていることが分かりました。子どもの気持ちや能力が充分に引き出せると思います。 ・年齢差のある子ども達を、母親以上にきめ細やかな指導をしている先生方の活動はとても素晴らしく保護者は感謝しています。 ・教育理念に基づき信頼できる活動を行なっています。 ・発育に応じた楽しい作品や教室づくりが見られました。 |
| | 職員は親や子どもに信頼されている② | | | | |
| 教育課程 | 教育目標に沿った教育③ | A | ○今年から重点目標を「笑顔いっぱい元気な子」に改めた。目指すこども像も「すくすく」「ここにこ」「わくわく」等、こどもにも保護者も分かるようにした。そして、教職員が教育目標や重点目標を共通理解し、更にねらいを意識し子どもの主体の保育教育活動になるよう発育の状況に合わせて行事に取り組んできた。 ○保護者からは、行事の感想として「子供の成長を感じる事ができとても幸せな時間を過ごせた」「家庭では見られない子どもが楽しそうな姿が拝見出来て良かった」等があり、園の方針や職員の取り組みを評価する方が多数いた。 | A | ・「おはよう」「こんにちわ」と元気にあいさつのできる子や、にっこり笑って手を振る子がいっぱいいたので、重点目標を大切にしている事を感じました。 ・年齢の違った子ども同士の交流を設定している(午後の交流やトントン隊など) ・年齢に沿った教育目標を先生方が生活に生かすよう取り組んでいるので、保護者の立場でも安心だと思えます。(子どもが安心して遊べるように) ・園庭で異年齢の子ども達も楽しく遊んでいる。子どもの気持ちの持ち方も良くなると思う。教えたり教わったりする外遊びの姿を参観できてうれしい。 |
| | 一人一人を大切に、発達年齢に応じた保育⑤ | | | | |
| | 園行事⑩ | | | | |
| 教育環境 | 保育室、園庭、遊具等、園での教育環境④ | B | ○教育環境においては、教職員、保護者共に改善の必要ありと捉える意見がある。園舎老朽化による施設整備と収納場所の不足等は今後の課題である。 ○月1回の防災訓練では、園庭への避難だけでなく高洲中への避難も体験させた。また、消火訓練も職員や年長の子どもが取り組んできた。 ○職員の手による安全対策マップの作成や、安全な遊具の使い方の指導を徹底し、子どもの安全意識向上に繋がった。引き続き、可能な限り子どもから目を離さないようにしたい。 | B | ・園舎の老朽化もありますが、遊具の老朽化を早めに対応して欲しいと思います。 ・防犯カメラで子どもの様子を録画されていることはとても良いことだと思ふ。 ・長い時間園で過ごすので、メリハリを付けた活動を組んでいる。午前中はクラスで活動し、午後はゆったりと家庭的な雰囲気でも過ごすよう工夫しています。 ・毎月の安全点検などきちんと実施していて、子供達にも安全への意識が育っていることはありがたと思う。 |
| | 安全な環境について配慮⑧ | | | | |
| 保護者対応 | 親や子どもに信頼されている② | A | ○園だよりや学級だより、HPの写真掲載や行事の動画配信等を通して、子どもの様子を丁寧に知らせた。また、今年から更にわかりやすいHPに改訂した。 ○子どもの怪我等への保護者対応が適切にできるよう、保護者への早い対応を心がけると共に子どもに関わる情報は職員間で状況や情報を共有する。 ○保護者との日々の会話や個別面談等、直接顔を合わせたコミュニケーションを大切にしてきた | A | ・忙しくて気づかない保護者の為に子どもからも親に伝え、そして、職員も親にも伝えるなど連絡を確かなものにしていてと思う。子どもと接する時間が長い教師が親に成長の様子を丁寧に伝えるよう努力している。 ・現代の社会でHPやLine、メールの対応ができることはかなり良いことだと思います。(連絡のミスや防止等) ・いつも丁寧に対応してくださり感謝しています。 |
| | 子どもの様子を丁寧に伝えている⑥ | | | | |
| 連携 | 家庭や地域と連携した教育活動を行っている⑦ | B | ○夏祭り、運動会を親子で楽しめるゲームや種目を体験できるようにした。 ○教育部は一斉公開日を設け集団の中の姿見にいただき、保育者は個別の保育参加を実施している。家庭とは違う姿を参観することで子ども理解を深めた。 ○地域の方の力を借りサツマイモの苗植え、収穫を体験をさせていただいた。 ○高洲小、高南小に入学する園児と1年生が、楽しく交流活動を行ない小学校生活を体験できた。地区交流センターの「ふれあい祭り」に年中児が参加。 ○職員も高洲地区保幼小中合同研修会に参加し授業等を参観し交流を深めた。 ○地域や学校、保護者代表の方に行事を参観いただき、ご意見を伺う機会を設けた。園の子どもの理解を深めていただく良い機会になった。 | B | ・小学校1年が適切な指導を確認し合う「たかす すくすく プログラム」が来年から始まります。今まで以上に小学校でも園との連携強化を図るようにしていくことを高洲小学校長から提案されました。職員同士がお互いに参観し合い教育活動を知り指導に生かす機会にしたいと考えています。評価委員の方も賛同の意見が出されました。 ・ふじの花こども園の園長先生や副園長先生の話聞いて今まで以上に地域とふれあって欲しいと思いました。(交流センターのお祭りにもきてください。) ・畑作業を体験できることはとても良いと思います。来年度から、今まで以上に小学校との連携に期待しています。 |
| | | | | | |
| 食育 | 給食や栽培など、食育が適切に行われている⑨ | A | ○野菜の栽培を体験し、収穫物を給食で頂くなど目に見える形で実施できた。 ○午後の自由遊びの時、自主的に玉葱の皮をむく等、野菜に親しむ姿が見られた。 ○給食職員と子どもと季節の野菜カレー、スイートポテト等を調理する機会を設けた。このような活動を通して園児が食に対する関心や理解が深まった。 ○健康に配慮し工夫された給食のメニューは保護者、職員、子どもの評判も良い。今後も周囲の声に耳を傾け、食べることの楽しさを味わうようにしたい。 | A | ・自分の園で年齢差に合わせた離乳食や食事づくりをしている。 ・自園で調理された給食をいただけることはありがたいことです。 ・好き嫌いがなくなる子どもに育って欲しいです。 ・バランスの良い食事で子どももおいしく食べており助かっています。 ・今後も地域の方々と連携し、家庭とも協力しながら子供の食についての意識を高めていきたい。 |
| | | | | | |

評価点 A 十分に成果があった B 成果があった C 少し成果があった D 成果がなかった